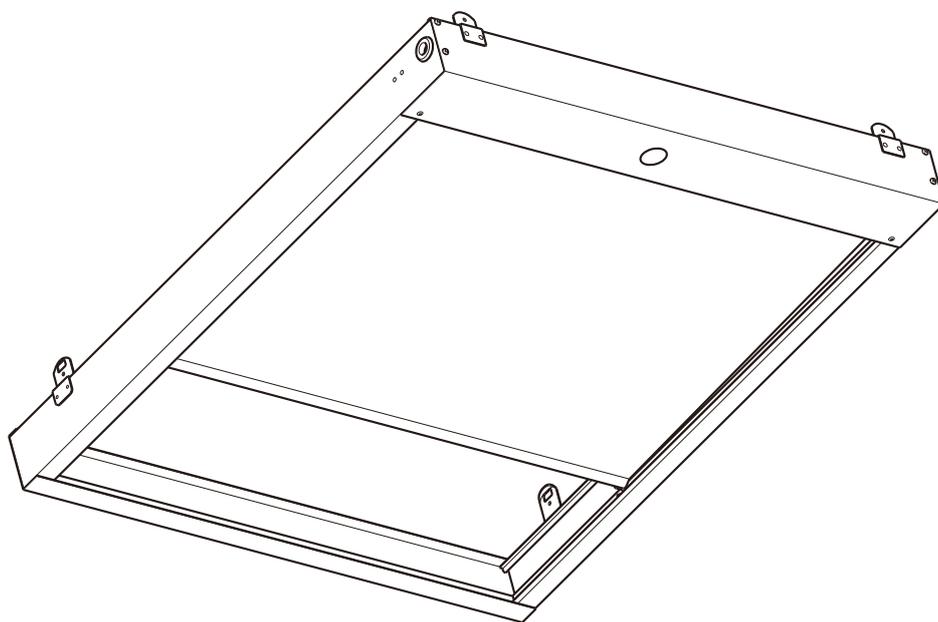


LIXIL

スカイシアター 電動ロールスクリーン

取扱い説明書



ご使用にあたって

- 「電動ロールスクリーン」を正しく安全にご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。
- この取扱い説明書は、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。

目次

■重要なお知らせ	1
■警告用語の種類と意味	1
■特に注意していただきたいこと	2
■各部の名称	3
■操作のしかた	3、4
■操作のしかた（非常時）	4
■こんなときには	4
■お手入れのしかた	5
■電動ロールスクリーンが動かない場合	5
■アフターメンテナンスについて	6
■商品保証について	裏表紙

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。

「電動ロールスクリーン」の操作及びお手入れの際は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用又は誤用によるケガ及び損害が発生した場合は、当社及びその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「電動ロールスクリーン」の操作及びお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

※この章では、「電動ロールスクリーン」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

- この「取扱い説明書」では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

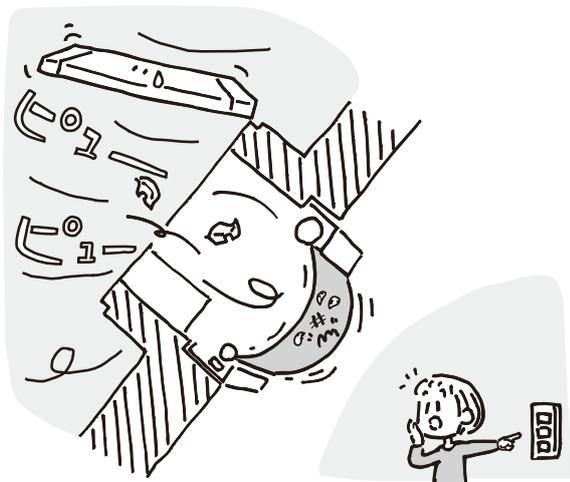
※安全のため、必ずお守りください。

⚠ 注 意

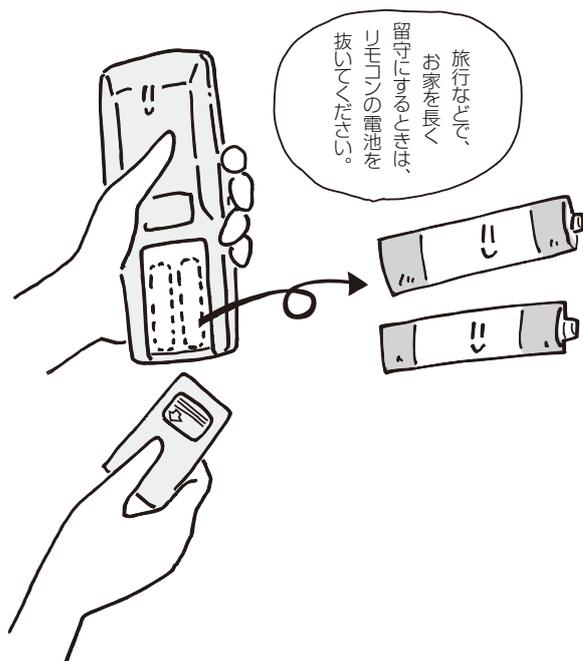
- 開閉の時は、周囲に人・物がいない事を確認してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 本製品をご自分で取外したり分解・改造しないでください。特にモーターおよびスイッチの改造・配線の変更は事故・故障の原因となります。
- 電動ロールスクリーンには絶対にぶらさがったりしないでください。落下や故障の原因になるおそれがあります。
- 受光部に触れないでください。または指を入れないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になるおそれがあります。

使用上のお願い

- 電動ロールスクリーンの、スクリーンや他の部品を強く押ししたり、引張ったりしないでください。部品やスクリーンの破損、またスクリーンを開閉させる為のワイヤーが切れるなどして、開閉出来なくなるおそれがあります。
- スカイシアターTT型にご使用の場合、風の強い日は、ロールスクリーンを閉めたまま障子を開けないでください。また、スクリーンを開閉しないでください。風でスクリーンがあおられて、開閉出来なくなるおそれがあります。



- リモコンを長期間使わないときは、液漏れ防止のため、電池を抜いてください。

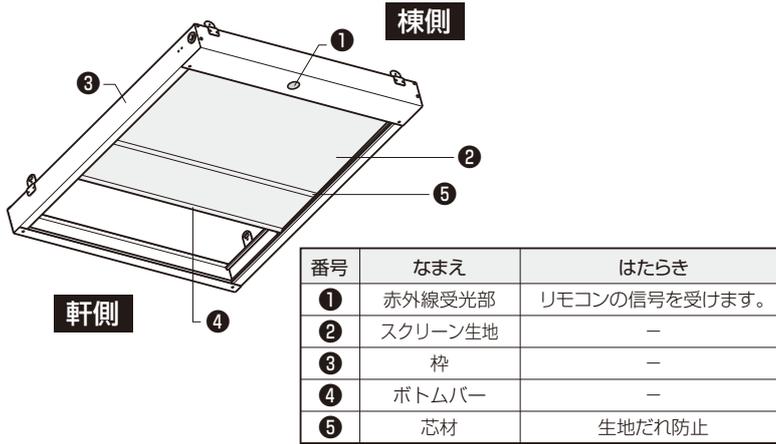


- リモコンはぬれた手で操作しないでください。又、直射日光の当たる場所や高温・高湿の場所に置かないでください。



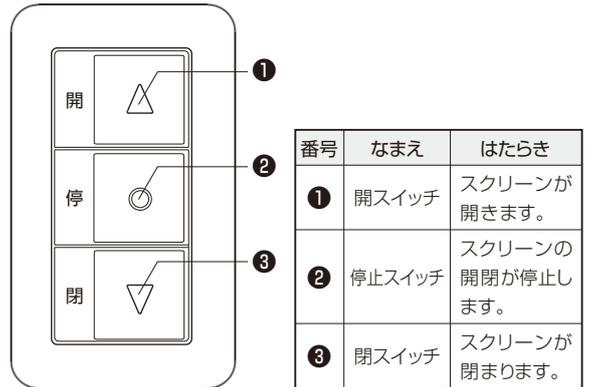
各部の名称

電動ロールスクリーン本体



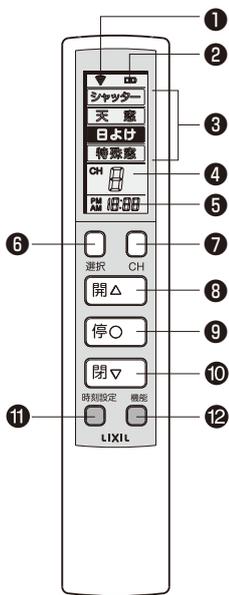
※高遮蔽タイプの場合はサイズにより中央に生地だれ防止の芯材が入る機種があります。

壁スイッチ



リモコン(共通リモコン、単機能リモコン)

■操作のしかたはP.4「リモコンからの操作」をご参照ください。



(例：共通リモコン)

番号	共通リモコン	単機能リモコン	なまえ	はたらき
①	○	○	赤外線信号発信表示	(開・閉・停機能のいずれかのボタンに該当する) 信号を発信している状態を表します。
②	○	○	電池残量警告	電池容量の低下を表します。(電池を交換して下さい)
③	○	○	品種表示	選択された品種を表します。
④	○	—	チャンネル表示	[0~9]チャンネルを表します。
⑤	○	○	時刻表示	時刻を表します。
⑥	○	—	品種選択ボタン	品種を選択することができます。
⑦	○	—	チャンネル選択ボタン	チャンネルを選択することができます。
⑧	○	○	開ボタン	スクリーンが開きます。
⑨	○	○	停ボタン	スクリーンの開閉が停止します。
⑩	○	○	閉ボタン	スクリーンが閉まります。
⑪	○	○	時刻設定ボタン	時刻を設定する状態になります。
⑫	○	○	機能ボタン	シャッターの場合のみ使用します。

○……そのリモコンについています。 —……そのリモコンにはついていません。

操作のしかた

壁スイッチからの操作

1 開ける場合

開スイッチ ① を押してください。

- スクリーンが開きます。

2 閉める場合

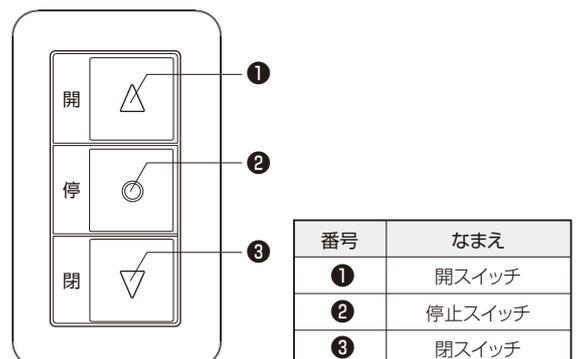
閉スイッチ ③ を押してください。

- スクリーンが閉まります。

3 途中で止める場合

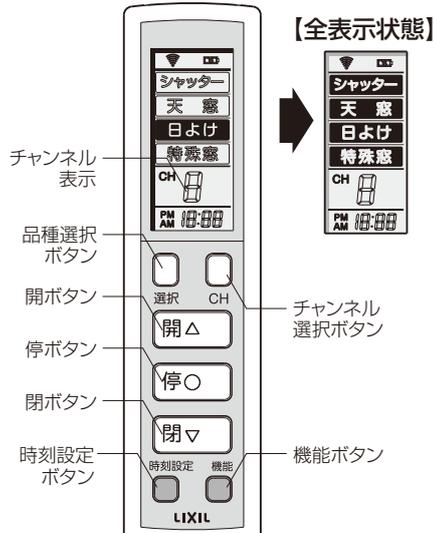
開又は閉動作中に停止スイッチ ② を押してください。

- スクリーンが途中で停止します。



リモコンからの操作

■共通リモコン



【全表示状態】



手順	表示状態	備考
品種を選択してください。		<ul style="list-style-type: none"> ●品種選択ボタンを押すことで、以下の順序で品種を選択できます。 全選択(全ての品種) → シャッター → 天窓 → 日よけ → 特殊窓 ●日よけを選択して操作をおこなってください。 ※単機能リモコンの場合、本操作はありません。
		<ol style="list-style-type: none"> 開ける場合 開ボタンを押してください。 ●スクリーンが開きます。 閉める場合 閉ボタンを押してください。 ●スクリーンが閉まります。 途中で止める場合 開又は閉動作中に停止ボタンを押してください。 ●スクリーンが途中で停止します。

※リモコンの設定については、リモコンの取扱い説明書を参照してください。

■2台以上の電動ロールスクリーンを開閉する場合

それぞれの電動ロールスクリーンの受光部にリモコンを向けて操作してください。チャンネル設定による個別操作はできません。

■リモコンの操作可能範囲

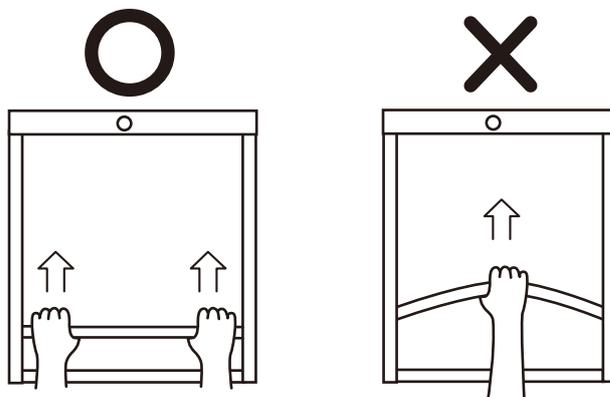
信号の到達距離は受光部の正面から直線で約9mです。受光部の正面からずれるほど受信可能な距離は短くなります。

操作のしかた(非常時)

この章では、停電や故障で電動ロールスクリーンが開けられないときの操作のしかたについて説明しています。

●停電や故障で電動ロールスクリーンが開けられない場合には、ボトムバー両端を持って、上にゆっくりと押し上げてください。

※ボトムバーの両端以外を持って操作してもスクリーンは開きません。



こんなときには

●開動作中、スクリーンが途中で停止した場合。

スクリーン、ワイヤーがたるむなどで『ゆるみ検知』が作動しています。一度、閉ボタンを押し、開ボタンでスクリーンを開ける事が出来ます。

●閉動作中、スクリーンが途中で停止した場合。

枠に障害などがあり『負荷検知』が作動しています。一度、開ボタンを押し、障害がないことを確認した後、閉ボタンでスクリーンを閉める事が出来ます。

●強い風にスクリーンがあおられた場合。

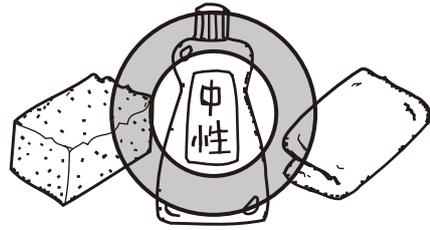
上記『ゆるみ検知』が作動し、スクリーンを開ける事が出来ない場合があります。その際は閉ボタン・開ボタンを繰り返し操作しながらスクリーンを開けてください。

お手入れのしかた

アルミ材のお手入れ

- ①アルミの表面についたホコリ、砂などを取除きます。
- ②水でぬらしたぞうきんで全体の汚れをふき取ります。特に汚れがひどい部分は、中性洗剤をうすめた液で汚れを落とした後、洗剤が残らないように水洗いします。
- ③全体をからぶさします。

※アルミの表面についたゴミ、ホコリは腐食の原因になります。定期的に清掃してください。



お願い

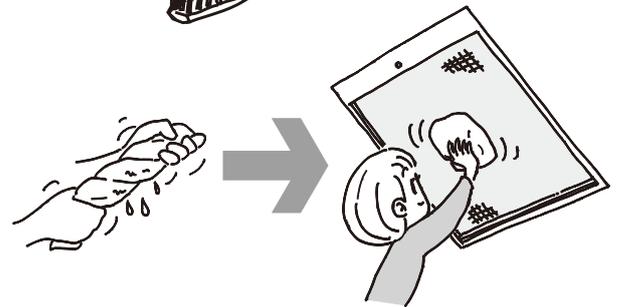
- アルミの表面は傷つきやすいので、柔らかい布かスポンジを使用し、金属製ブラシや金ペラはさけてください。
- 洗剤は必ず中性のものを使用してください。

スクリーン生地のお手入れ

- スクリーン生地の部分は、かたくしぼったぞうきんで全体の汚れをふき取ってください。

お願い

- 強く押さないでください。電動ロールスクリーンが動かなくなるおそれがあります。



電動ロールスクリーンが動かない場合

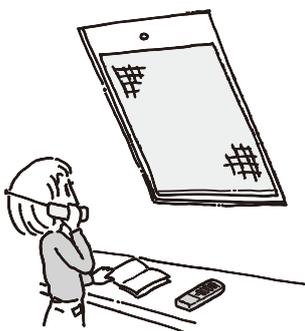
処置のしかた

■「電動ロールスクリーン」が動かない場合は、停止スイッチを押してから下記の手順に従ってください。

ここをお調べください	処置のしかた
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。
リモコンの電池は消耗していませんか？ (リモコン使用の場合)	電池を新しいものに交換してください。故障の原因になりますので、新旧・異種の混用はおやめください。
リモコンの受光部が汚れていませんか？ (リモコン使用の場合)	受光部の汚れを落としてください。
枠に障害物はありませんか？	障害物を取除いてください。

※上記項目を確認しても電動ロールスクリーンが動かない場合は、一度電源を入れなおしてください。

※お問合わせ先は、P.1「重要なお知らせ」を参照し、連絡先窓口までご連絡ください。



アフターメンテナンスについて

修理を依頼される前に

点検および修理を依頼される前に、取扱い説明書の「■こんなときには」、「■電動ロールスクリーンが動かない場合」をご確認ください。

保証について

保証期間中は、保証の規程にしたがって修理をさせていただきます。
保証期間中でも有料になる場合がありますので「■商品保証について」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『取扱い説明書』をもう一度ご確認くださいの上、それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品代です。
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（機能を維持するために必要な部品・代替品含む）の最低保有期間は、製造終了後10年です。
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

キッチン、洗面化粧台、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、販売終了後2年としております。2年経過後は、新シリーズの面材を供給させていただきます。ただし2年に満たない場合でも、面材の供給が難しい場合は、新シリーズの類似面材を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。
リクシルパーツショップ <http://partsshop.lixil.co.jp/shop/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

2014年9月

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

- 対象商品 サッシ・ドア商品
- 保証期間 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)
注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。
※ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。
- 保証内容 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。
- 免責事項 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
 - ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
 - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
 - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
 - ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
 - ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起さる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
 - ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
 - ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
 - ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
 - ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

2013年4月

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

